

暮らし

つながり

生活環境

成長

基本政策 2 スポーツにより交流が活性化する

【基本政策の方向性】

地域コミュニティの醸成を図るため、市民がイベントや大会といった地域でのあらゆるスポーツ活動を通して、交流が活性化される“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「スポーツを通じたつながりの形成」

多くの市民が「する」、「観る」、「支える」の観点からスポーツに関わりを持ち、それぞれの取組が、市民のつながりの形成となることを目指します。

【数値目標】	現状値	目標値
スポーツ行事への参加率（市民スポーツアンケート調査）	29.5%（H27）	⇒ 40.0%（R7）

基本施策

2-1 「する」（機会の充実）

多様化するニーズに対応した体験機会、環境整備、仲間づくりができる支援の充実を図ることで、市民があらゆる形でスポーツ活動に参加し、交流を深めることを目指し、「する」機会の充実を図ります。

【KPI】	現状値	目標値
スポーツをすることが「好き」という割合 （市民スポーツアンケート調査）	33.6%（H27）	⇒ 40.0%（R7）

【主な取組】 好きな時に好きなスポーツを楽しめる環境整備

事業、施設、情報提供等を充実し、好きな時に好きなスポーツを、気軽に楽しめる環境整備を図ります。

【KSF】	現状値	目標値
市民総合体育館スポーツジム・スタジオの利用人数	51,070 人（R1）	⇒ 52,000 人（R7）

2-2 「観る」(環境整備)

様々な交流やシティセールスを目的として、大会等の誘致、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会ホストタウン¹・共生社会ホストタウンとしての取組などにより、「観る」環境整備を推進します。

【KPI】	現状値		目標値
スポーツを会場等で観戦したことがある市民 (市民スポーツアンケート調査)	20.9% (H27)	⇒	25.0% (R7)

【主な取組】 大会等誘致によるスポーツ活動・地域交流・シティセールスの充実

レスリング、ハンドボール、セパタクロー等の全国規模の大会等の誘致や関連した体験教室等の開催を通して、スポーツの魅力を伝えとともに、スポーツ活動・地域交流・シティセールスの充実を図ります。

【KSF】	現状値		目標値
全国規模の大会等の実施回数	4 回 (R1)	⇒	5 回 (R7)

2-3 「支える」(環境整備)

地域スポーツ団体等の活動支援、富士見 TOP サポーター²の活動機会の充実、レスリングのまち富士見市の推進などを通して、市民を主体としたスポーツ活動の充実を目指し、「支える」環境整備を推進します。

【KPI】	現状値		目標値
スポーツに関するボランティア活動の参加率 (市民スポーツアンケート調査)	8.0% (H27)	⇒	10.0% (R7)

【主な取組】 スポーツ団体等への活動支援

富士見 TOP サポーターの東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会後を含めた活動、スポーツ団体による普及活動や大会、イベントなど、市民による地域スポーツ活動を支援します。

【KSF】	現状値		目標値
富士見 TOP サポーターのイベント、大会等の活動延べ人数	230 人 (R 元)	⇒	250 人 (R7)

¹ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、地域の活性化や観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る自治体

² 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する事業等を一緒に支えてくれるボランティア

関連する SDG s ゴール



市民が平等かつ、公正に取り組める機会を保障し、市民生活を営む上の基盤づくりとして、スポーツを通じたつながりの醸成に取り組みます。

関連ターゲット（4-2、4-3）



経験や知識、技術を共有しながら多様なスポーツ機会を提供し、様々なパートナーシップを推進するとともにスポーツを通じたつながりの形成に取り組みます。

関連ターゲット（17-17）

関連計画等

富士見市スポーツ推進計画（平成 29 年度～令和 3 年度）

第 2 次富士見市教育振興基本計画（平成 30 年度～令和 4 年度）

第 3 次富士見市生涯学習振興基本計画（令和 3 年度～令和 12 年度）

関連部署

健康福祉部 健康増進センター

教育委員会 生涯学習課

